

令和6年度（2024年度）

入学者選抜要項



令和5年（2023年）6月

宮崎大学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容及各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

学生募集要項について

この入学者選抜要項は、本学が実施する令和6年度学部入試の概要を紹介するものです。選抜区分ごとの詳細については、学生募集要項によりお知らせします。それぞれの公表時期（予定）は、下表のとおりです。

選抜区分の名称	公表時期
一般選抜	11月中旬
学校推薦型選抜	9月中旬
総合型選抜	公表済
医学部医学科地域枠 A・B・C 学校推薦型選抜	9月中旬
帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試	9月中旬
グローバル人材育成入試	9月上旬
畜産別科入試	10月中旬

なお、本学ではインターネットを利用した出願を行っており、学生募集要項も本学ホームページよりダウンロード（PDF形式）して入手してください。印刷した冊子はありません。（医学部医学科地域枠 A・B・C 学校推薦型選抜及び畜産別科を除く。）

学生募集要項掲載ページ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



インターネット出願について

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>



自然災害や感染症の感染拡大等により、出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

宮崎大学ホームページのトップ画面に表示されるチャットボットもご利用ください。多くの質問に対応しております。土日、夜間でもご利用いただけます。

【利用方法】

質問したい事項をメニューから選択するか、質問やそのキーワードを文字で入力いただくと AI（人工知能）が自動回答します。

宮崎大学ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



目 次

I. 学部のアドミッション・ポリシー	1
II. 入学者選抜の概要	
1. 入学者選抜実施日程	16
2. 入学定員（募集人員）	17
3. 入学者選抜方法等	19
III. 一般選抜	
1. 出願資格	22
2. 入学者選抜の実施教科・科目等	22
3. 個別学力検査（主体性評価）について	30
4. 個別学力検査（英語）の免除について（工学部）	31
5. 一般選抜（前・後期日程）の入学試験問題について	31
IV. 学校推薦型選抜	
1. 各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等	32
2. 各学部・学科課程（コース・専攻）の配点	46
V. 総合型選抜	
1. 教育学部	47
2. 工学部	50
3. 農学部 森林緑地環境科学科	51
4. 農学部 海洋生物環境学科	52
VI. その他の選抜	
1. グローバル人材育成入試	53
2. 帰国生徒選抜	55
3. 社会人選抜	56
4. 私費外国人留学生入試	57
5. 畜産別科入試	59
VII. 障がい等のある入学志願者の事前相談	60
VIII. 大学案内等の請求方法	61
IX. 卒業後の進路・資格等	62
X. 統計資料	67

I. 学部のアドミッション・ポリシー

1. 教育学部

学校教育課程 小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長年にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す、教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について(求める能力や適性等の評価方法とその比重(◎:特に大きい比重、○:大きい比重))

求める能力や適性等		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
選抜方法						
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜 (小学校主免専攻) (宮崎県教員希望枠)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜 (中学校主免専攻)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜 (小学校主免専攻) (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜 (中学校主免専攻： 音楽・美術・保健体育)	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める 個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	
帰国生徒選抜	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○				

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 教職実践基礎コース

教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

教職実践基礎コースでは、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 (宮崎県教員希望枠)	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の教員を目指す者を対象とし、入学者を選考します。
帰国生徒選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	教職への意欲	協調性
	前期日程	共通テスト	◎	○	
個別学力検査		○	◎		
面接		○	○	◎	◎

学校推薦型選抜 (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	
帰国生徒選抜	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしか
な知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる
思考力・主体性(以下、「思考力・主体性」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)
と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力(以
下、「協調性」)を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について(求める能力や適性等の評価方法とその比重(◎:特に大きい比重、○:大きい比重))

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 主体性	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	○	◎	○		
	面接	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	◎	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

特別支援教育専攻では、特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性（以下、「協調性」）を持つ人、また、学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）を有している人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜	高等学校での学業成績が優秀で、特別支援学校教員を目指すことに意欲的な者を対象とし、入学者を選考します。
帰国生徒選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	特別支援教育への意欲	協調性	創意工夫 向上心
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
学校推薦型選抜	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		
帰国生徒選抜	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎的学力を十分身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

2. 医学部

医学科

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜（地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の地域医療に貢献する熱意がある入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜区分	求める能力や適性等	知識・技能	主体性・学問への関心 協調性・思考力・表現力
	前期日程・後期日程	共通テスト	◎
個別学力検査		○	◎
面接			◎
学校推薦型選抜 （地域枠）	共通テスト	◎	○
	面接		◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

看護学科

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜区分	求める能力や適性等	知識・技能	主体性 学問への関心	協調性・思考力・ 表現力
	前期日程	共通テスト	◎	
	面接		◎	○
後期日程	共通テスト	◎		
	小論文		○	◎
	面接		◎	○
学校推薦型選抜	共通テスト	◎		
	小論文		○	◎
	面接		◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。

3. 工学部

工学科

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
総合型選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	個別学力検査	○	◎	
	主体性評価			◎
総合型選抜	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

4. 農学部

植物生産環境科学科

1. 求める学生像

植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識の修得や安全・高品質な農・園芸作物の安定供給、生産環境の改善、環境調和型農業の実現に対して熱意を持って取り組み、植物生産環境科学分野における課題解決能力をもち、学修を通して獲得した国際的視点、知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。

そこで、植物生産環境科学科では次のような人材を求めています。

- 1) 自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人（学問への関心）
- 2) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人（知識・理解）
- 3) 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力）
- 4) 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人（主体性）
- 5) 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
	前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
個別学力検査		○	◎		
主体性評価				◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

森林緑地環境科学科

1. 求める学生像

森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、森林緑地環境科学科では次のような人材を求めています。

- 1) 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人（主体性）
- 2) 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探求心を有する人（学問への関心）
- 3) 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人（思考力、表現力）
- 4) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
- 5) 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
	前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講 及びレポート作成		◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○

	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、自ら興味を深め課題を発見する姿勢や、多様な意見を聞きながら多くの人と協力して課題解決をはかる態度も、あわせて身に付けておくことを望みます。

応用生物科学科

1. 求める学生像

応用生物科学科では動植物や微生物がもつ機能やその利用を化学的視点で思慮することができる、生物機能や食品機能に関する諸課題を論理的に考察できる、バイオサイエンス分野における課題解決能力と倫理観を有する、高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する、また、バイオサイエンス分野の先端的・独創的科学技术を応用して地域・国際社会に貢献できる人材の育成を目標としています。

そこで、応用生物科学科では次のような人材を求めています。

- 1) 化学をはじめとする自然科学に対して強い興味と探求心をもっている人（学問への関心）
- 2) 化学や生物などの理科（自然科学）や数学、英語などの基礎学力を備えている人（知識・理解）
- 3) 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力）
- 4) 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人（主体性）
- 5) 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
選抜方法					
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

理科(特に化学・生物)、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく学習しておく必要があります。また、主体性、協働性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

海洋生物環境学科

1. 求める学生像

海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、海洋生物環境学科では次のような人材を求めています。

- 1) 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人（学問への関心）
- 2) 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人（主体性）
- 3) 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人（思考力、表現力）
- 4) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
- 5) 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。

学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜	面接	○	○	◎	○
	模擬講義の受講 及びレポート作成		◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、海洋環境、海洋生物生産・増殖などの自然科学については、本を読むなどして知識を深めてください。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

畜産草地科学科

1. 求める学生像

畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、畜産草地科学科では次のような人材を求めています。

- 1) 動植物に対する幅広い興味や関心を有する人（学問への関心）
- 2) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
- 3) 実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人（思考力、表現力）

- 4) 資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人（主体性）
- 5) 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

獣医学科

1. 求める学生像

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

- 1) 自然科学に対する幅広い興味や関心を有している人（学問への関心）
- 2) 学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力をもっている人（知識・理解）
- 3) 自然科学をはじめ、様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力がある人（思考力、表現力）
- 4) ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる人（主体性）
- 5) 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
	前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
個別学力検査		○	◎		
主体性評価				◎	◎
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

5. 地域資源創成学部

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

1. 求める学生像

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・技能）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		選抜方法				
		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	コミュニケーション能力	主体性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	総合問題	○	◎			
	主体性評価			◎	◎	◎
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎			
	面接			◎	◎	◎
学校推薦型選抜	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○			
	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、科目を越えて地域を捉える姿勢、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

II. 入学者選抜の概要

1. 入学者選抜実施日程

大学入学者選抜大学入学共通テスト		試験日	1月13日(土)・14日(日)				
区分	学部名	募集要項	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切	
一般選抜	前期日程	医学部 看護学科 工学部 農学部 地域資源創成学部	11月中旬 1月22日(月) ～ 2月2日(金)	2月25日(日)	3月8日(金)	3月15日(金)	
		教育学部 医学部 医学科		2月25日(日)・26日(月)			
	後期日程	全学部		3月12日(火)	3月21日(木)		3月27日(水)
学校推薦型選抜	大学入学 共通テスト を課さない	教育学部	9月中旬 11月1日(水) ～ 6日(月)	11月22日(水)	12月8日(金)	2月19日(月)	
		農学部		11月21日(火)・22日(水) ※2			
		地域資源創成学部		11月25日(土)			
	大学入学 共通テスト を課す	教育学部	12月18日(月) ～ 20日(水)	1月18日(木)・19日(金) ※3	2月9日(金)		
		医学部 医学科 ※1	12月1日(金) ～ 5日(火)	12月20日(水)			
		医学部 看護学科	11月1日(水) ～ 6日(月)	11月28日(火)			
総合型選抜	教育学部	公表済み	9月25日(月) ～ 27日(水)	(第1次選考) ※3 ※4 10月21日(土)・22日(日) (第2次選考) ※3 11月25日(土)・26日(日)	(第1次選考) 11月1日(水) (第2次選考) 12月8日(金)	2月19日(月)	
	工学部		9月1日(金) ～ 5日(火)	(第1次選考) 書類選考 (第2次選考) ※3 9月26日(火)・27日(水)	(第1次選考) 9月15日(金)		
	農学部		(第1次選考) 書類選考 (第2次選考) 10月9日(月)・10日(火)	(第2次選考) 11月1日(水)			
グローバル 人材育成入試	農学部	9月上旬	9月4日(月) ～ 10月3日(火)	(第1次選考) 書類選考 (第2次選考) 11月16日(木)	(第1次選考) 10月24日(火) (第2次選考) 12月8日(金)	1月10日(水)	
帰国生徒選抜	教育学部	9月中旬	11月1日(水) ～ 6日(月)	11月20日(月)	12月8日(金)	12月25日(月)	
	農学部			11月22日(水)			
社会人選抜	農学部	9月中旬		11月22日(水)			
私費外国人 留学生入試	工学部 地域資源創成学部	9月中旬		11月20日(月)			
	農学部			11月22日(水)			

※1 医学部医学科の地域枠学校推薦型選抜は第2次選考の日程を記載しています。

※2 いずれか1日の受験となります。

※3 志願者数によっては1日目で終了する場合があります。

※4 教育学部小学校主専攻の第一次選考は、書類選考を行います。

2. 入学定員（募集人員）

学部	学科・課程等		入試形態	入学定員	募集人員								
					一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	グローバル人材育成入試	帰国生徒選抜	社会人選抜	私費外国人留学生入試	
					前期日程	後期日程							
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	2/3型+面接入試	140	20	10	25	5	若干人				
			理系型+面接入試		10								
			小論文型+面接入試		10								
		中学校主免専攻	2/3型+面接入試		10	7	8						
			理系型+面接入試		10								
	教職実践基礎コース		2/3型+面接入試		8	7							
		発達支援教育コース	子ども理解専攻		2/3型+面接入試	7	3						
特別支援教育専攻			2/3型+面接入試	7	3								
小計			140	72	10	45	13						
医学部	医学科			100	45	15	40						
	看護学科			60	35	5	20						
	小計			160	80	20	60						
工学部	工学部	応用物質化学プログラム		370	240	90		6				若干人	
		土木環境工学プログラム						7					
		応用物理工学プログラム						5					
		電気電子工学プログラム						5					
		機械知能工学プログラム						8					
		情報通信工学プログラム						9					
小計			370	240	90		40						
農学部	農学部	植物生産環境科学科		50	27	13	10	(10)	※	若干人	若干人	若干人	
		森林緑地環境科学科		50	27	13	7			3	若干人	若干人	若干人
		応用生物科学科		55	31	11	13				若干人	若干人	若干人
		海洋生物環境学科		30	16	10	2			2	若干人	若干人	若干人
		畜産草地科学科		50	28	12	10				若干人	若干人	若干人
		獣医学科		30	20	10							若干人
小計			265	149	69	42	5	(10)					
創成学部	地域資源創成学科			90	55	15	20					若干人	
	小計			90	55	15	20						
合計				1,025	596	204	167	58	(10)				

※ 農学部グローバル人材育成入試の募集人員10名は、農学部一般選抜（獣医学科を除く）の募集人員188名の中に含まれます。

（備考）

1. 一般選抜の各募集人員には、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。
2. 教育学部の一般選抜のうち、小中一貫教育コース中学校主免専攻、教職実践基礎コース及び発達支援教育コースについては前期日程のみで実施します。
3. 学校推薦型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部看護学科及び農学部は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3型+面接入試】に加えます。医学部医学科地域枠A・B・Cは、募集人員を満了した別の推薦枠に満たない人員を加えます。それでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。
4. 総合型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部は前期日程の【2/3型+面接入試】、工学部は後期日程、農学部は前期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。
5. 農学部グローバル人材育成入試の入学者が募集人員に満たない場合は、一般選抜の募集人員にその満たない人数を加えます。
6. 農学部グローバル人材育成入試は日本の国籍を有しないものに限りです。詳細は53ページを参照してください。

○教育学部学校教育課程小中一貫教育コースについて

教育学部学校教育課程小中一貫教育コースでは、入学後、一つの教科を専修とします。専修とすることのできる教科は、小学校主免専攻、中学校主免専攻ともに国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。さらに小学校主免専攻においては、技術も専修とすることができます。

中学校主免専攻においては技術を専修とすることはできませんが、他の教科を専修として技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。また、小学校主免専攻において、技術を専修として、技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。

なお、決定方法は次のとおりです。

小学校主免専攻：本人の希望を考慮した上で、入学後に決定します。

中学校主免専攻：出願時に選択した教科が専修となります。なお、総合型選抜以外の入試区分については、出願時に選択した教科が合否判定に影響することはありません。

○工学部について

1. 一般選抜について

工学部工学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全6プログラム（応用物質化学・土木環境工学・応用物理工学・電気電子工学・機械知能工学・情報通信工学）に対して、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。

合格判定は、工学部工学科の全受験者を大学入学共通テストと個別学力検査の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

各プログラムの目安定員は以下のとおりです。

学科	プログラム (1年次：系)	前期日程		後期日程	
		募集人員	目安定員	募集人員	目安定員
工 学 科	応用物質化学プログラム (1年次：応用物質化学系)	240	42	90	17
	土木環境工学プログラム (1年次：土木環境工学系)		38		12
	応用物理工学プログラム (1年次：応用物理工学系)		38		15
	電気電子工学プログラム (1年次：電気電子工学系)		40		15
	機械知能工学プログラム (1年次：機械知能工学系)		41		13
	情報通信工学プログラム (1年次：情報通信工学系)		41		18

2. プログラム配属について

一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生入試における合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属（系に配属）されます。

※入学時に、各プログラムとリンクする合格した「系」に配属（いわゆる仮配属）します。1年次は、希望する分野やその関連分野、異分野の学問体系や研究内容、就職先等について横断的に概観し、自分の本当にやりたいことの意識付けとキャリアデザインの初設計の期間に充てています。

1年次の授業で各プログラムについて理解を深め、2年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には同じ系からプログラムへ本配属されますが、一般選抜、私費外国人留学生入試での合格者は1年次系内で成績が上位25%かつ受入定員（プログラム目安定員の10%程度）内であれば、2年進級前に、異なるプログラムを希望することも可能です。

※希望者数が受入定員を超過した場合には、工学部が定めた基準による成績順に、受入定員まで配属することとしています。

※総合型選抜での合格者は、異なるプログラムへ希望することはできませんので、注意してください。

<p>[工学部に関するお問い合わせ先] 宮崎大学工学部教務・学生支援係 TEL 0985-58-2874</p>
--

3. 入学者選抜方法等

(1) 一般選抜、総合型選抜

学部・ 学科等名		一般選抜									個別学力検査等の日程	総合型選抜	備考 [欠員の補充の方法等]	
		個別学力検査等												
		個別学力検査を課す	実技検査等					2段階選抜						
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	総合問題を課す	外国語におけるリスニングを課す	主に共通テストとして実施する調査書の成績により1段階より2段階に選抜する者を行う	定員に対する倍率					
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	2月25日(日) 26日(月)	○ ※1	入学定員に欠員が生じた場合は追加合格を行うことがあります。また必要と認められる場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻	後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月12日(火)		
医学部	医学科	前期日程	○	×	○ ※2	×	×	×	○	約6倍	2月25日(日) 26日(月)	×		
	看護学科		×	×	○	×	×	×	×	×	2月25日(日)			
	医学科	後期日程	○	×	○ ※2	×	×	×	○	約14倍	3月12日(火)			
	看護学科		×	×	○	○	×	×	×	×				

※1 教育学部の総合型選抜は小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻（音楽、美術、保健体育）のみでの募集です。

※2 医学部医学科において、面接の評価が合格に達しない者は不合格とします。

学部・学科等名			一般選抜									総合型選抜	備考 〔欠員の補充の方法等〕
			個別学力検査等						個別学力検査等の日程				
			個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜						
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	総合問題を課す	外国語におけるリスニングを課す			に選共主 必抜通と 要をテし な行ステ 検イト調 査その査 等の成書 を合績の 行格に内 う者よ容 にりと つ第大い1学 て段入 更階学		
工学部	工学部	前期日程	○	×	×	×	×	×	×		×	2月25日(日)	○
	工学部	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日(火)		
農学部	農学部	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(日)	○	
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日(火)		※3
	地域資源創成学部	前期日程	×	×	×	×	○	×	×	×	2月25日(日)	×	
		後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	3月12日(火)		

※3 農学部の総合型選抜は森林緑地環境科学科及び海洋生物環境科学科のみでの募集です。

(2) 学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試

学部・学科等名		選抜方法等	学校推薦型選抜							学校推薦型選抜募集人員	帰国生徒、社会人のための入学試験		私費外国人留学生入試	備考
			入学定員の一部について、出身学校の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を提出しない資料として判定する								帰国生徒選抜	社会人選抜		
			個別学力検査を課す	個別学力検査を免除する	実技検査等				その他					
					実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングを課す						
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育J-1 小学校主免専攻	○	×	×	○	○	×	×	25人	○	×	×	
		小中一貫教育J-1 中学校主免専攻	○	×	×	○	○	×	×	7人	○	×	×	
		教職実践基礎J-1	×	○	×	○	○	×	×	7人	○	×	×	
		発達支援教育J-1 子ども理解専攻	○	×	×	○	×	×	×	3人	○	×	×	
		発達支援教育J-1 特別支援教育専攻	×	○	×	○	○	×	×	3人	○	×	×	
医学部	医学科	○	×	×	○ ※1	×	×	×	40人	×	×	×		
	看護学科	○	×	×	○	○	×	×	20人	×	×	×		
工学部	工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
農学部 ※2	植物生産環境科学科	×	○	×	○	×	×	×	10人	○	○	○	学校推薦型選抜では、応用生物科学科は、面接を行う前に試問内容を提示し、面接でこれに関する口頭試問を行います。	
	森林緑地環境科学科	×	○	×	○	×	×	×	7人	○	○	○		
	応用生物科学科	×	○	×	○	×	×	×	13人	○	○	○		
	海洋生物環境学科	×	○	×	○	×	×	×	2人	○	○	○		
	畜産草地科学科	×	○	×	○	×	×	×	10人	○	○	○		
	獣医学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
地域資源創成学部	地域資源創成学科	×	○	×	○	○	×	×	20人	×	×	○		

※1 医学部医学科において、面接の評価が合格に達しない者は不合格とします。

※2 農学部において、日本の国籍を有しないものを対象としたグローバル人材育成入試を実施します。詳細については53ページを参照してください。

Ⅲ. 一般選抜

1. 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和6年度大学入学共通テストのうち本学が指定した教科・科目を受験した者としてします。

ただし、学校推薦型選抜、総合型選抜、グローバル人材育成入試、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試については、該当のページを参照してください。

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※上記③に該当する者のうち、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者には入学資格を認めます。

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、本学学び・学生支援機構入試課にお問い合わせください。なお、詳細は本学ホームページにも掲載してありますので、下記のURLからご参照ください。

【URL】 <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html>



2. 入学者選抜の実施教科・科目等

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の受験教科・科目等は、23～29ページのとおりです。志望する学部・学科課程（コース・専攻）の指定した教科・科目を確実に受験してください。

なお、大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、出願無資格者として取り扱いますので、注意してください。

また、個別学力検査等において、指定した教科・科目等を1つでも受験していない者は、当該学部の合否判定の対象となりませんので、注意してください。

1) 大学入学共通テストの教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科 目 名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史→地歴	『世界史A』→『世A』、『世界史B』→『世B』、『日本史A』→『日A』、『日本史B』→『日B』、 『地理A』→『地理A』、『地理B』→『地理B』
公民→公民	『現代社会』→『現社』、『倫理』→『倫』、『政治・経済』→『政経』、 『倫理、政治・経済』→『倫・政経』
数学→数	『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』、『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』、『数学A』→『数A』、『数学B』→『数B』、 『簿記・会計』→『簿』、『情報関係基礎』→『情報』
理科→理	『物理基礎』→『物基』、『化学基礎』→『化基』、『生物基礎』→『生基』、『地学基礎』→『地基』、 『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語』→『中』、『韓国語』→ 『韓』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

2) 個別学力検査等の出題科目名は、上記1)と同様に表記するほか、次のように表記しています。

科目名	『数学Ⅲ』→『数Ⅲ』、『コミュニケーション英語Ⅰ』→『コ英Ⅰ』、 『コミュニケーション英語Ⅱ』→『コ英Ⅱ』、『コミュニケーション英語Ⅲ』→『コ英Ⅲ』、 『英語表現Ⅰ』→『英表Ⅰ』、『英語表現Ⅱ』→『英表Ⅱ』
-----	---

① 教育学部

(前期日程)

課程・コース、及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	面接	主体性評価	配点合計	
2/3型十面検入試 (注①) 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 20人 中学校主専攻 10人 教職実践基礎コース 8人 発達支援教育コース 子ども理解専攻 7人 特別支援教育専攻 7人	国	国語 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1)と (数Ⅱ・数Ⅲ・数B、簿・情報から1)の2	国	国語総合・現代文B・古典B } から2 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から3 外 二英Ⅰ・二英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ } から3 (2教科2科目)	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200					900	
	地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から3 (注☆)	その他	面接	個別学力検査	100*		100*		100*		300			500	
	理	物、化、生、地学 (物基、化基、生基、地基から2) から1又は2 } から3 (注☆)			計											1400
	外	英 (J・Kを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目)														
理系型十面検入試 (注①) 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 10人 中学校主専攻 10人	国	国語 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1)と (数Ⅱ・数Ⅲ・数B、簿・情報から1)の2	国	国語総合・現代文B・古典B } から1 外 二英Ⅰ・二英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B } から1 (2教科2科目)	共通テスト	200	100	200	300	200					1000	
	地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から1 (注☆)	その他	面接	個別学力検査	100*		200		100*		200			500	
	理	物、化、生、地学から2 (物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の 選択は不可、			計										1500	
	外	英 (J・Kを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)														

(注①) 学校教育課程小中一貫教育コース小学校主専攻及び中学校主専攻では、第2志望選抜を実施します。詳細は24ページを参照してください。

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、
- ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の選択は不可)、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

(注★) 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」及び「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」については、試験当日、問題を見た上で選択。

(後期日程)

課程・コース、及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	面接	主体性評価	配点合計
小論文型十面検入試 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 10人	国	国語 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1)と (数Ⅱ・数Ⅲ・数B、簿・情報から1)の2	その他	小論文 面接	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200					900
	地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から3 (注☆)			個別学力検査						300		300		600
	理	物、化、生、地学 (物基、化基、生基、地基から2) から1又は2 } から3 (注☆)			計	200	200 100	200	100 200	200	300		300		1500
	外	英 (J・Kを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目)													

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、
- ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の選択は不可)、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

【注】24ページの注意事項を必ずお読みください。

注意事項（教育学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民を1科目と指定している場合において、2科目受験しているときは、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。
(理系型+面接入試が該当)
- 3) 地歴・公民、理科の受験科目を3科目(理科の基礎を付した科目を選択する場合は4科目)と指定している場合において、指定科目数を超えて受験しているときは、次のとおり成績を採用します(2/3型+面接入試(前期)、小論文型+面接入試(後期)が該当)

受験科目数			得点の採用方法
地歴 公民	理科		
		理科①	理科②
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科①の2科目」、「理科②の1科目」のうち高得点の2つの成績』 ※ただし、理科①及び理科②において同一名称を含む出題科目を同時に採用することはできない。
	—	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科②の第2解答科目」のうち高得点の1科目』

※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目

- 4) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングを免除された者を除く)。
リーディングのみ受験した者(免除者を除く)及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。
- 5) 大学入学共通テストの成績は、全ての課程・コース(専攻)において令和6年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

数学の出題範囲については以下のとおりとします。

- ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
- ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を示します。

※第2志望について

- 1) 教育学部の前期日程で2/3型+面接入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻』を志願する場合、第1志望の専攻に加えて、『』内の別の専攻を第2志望とすることができます。
- 2) 教育学部の前期日程で理系型+面接入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻』を志願する場合、第1志望の専攻に加えて、『』内の別の専攻を第2志望とすることができます。
- 3) 第1志望の専攻と第2志望の専攻が同一の場合又は第2志望の専攻が未記入の場合は、第1志望の専攻でのみ合否判定します。

② 医学部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の 区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	総合 問題	面接	主体性 評価	配点 合計	
医 学 科	前期 45人	国	国語	数 理 外 英	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 Ⅱ英Ⅰ・Ⅱ英Ⅱ・Ⅱ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ (3教科4科目)	下記 注意 事項 参照	共通 テスト	200	100	200	200	200					900	
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1				物基・物 化基・化 生基・生 Ⅱ英Ⅰ・Ⅱ英Ⅱ・Ⅱ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ (3教科4科目)	個別学 力検査			200	200	200				※	
	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	その他	面接	下記 注意 事項 参照	計	200	100	400	400	400						1500	
	理 外 英	物、化、生から2 (Ⅱ/Ⅲを含む)				(5教科7科目)	共通 テスト	200	100	200	200	200	200					
後期 15人	国	国語	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	外	Ⅱ英Ⅰ・Ⅱ英Ⅱ・Ⅱ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ (1教科1科目)	下記 注意 事項 参照	個別学 力検査					150			※		150	
計	200	100	200	200	350												1050	
看 護 学 科	前期 35人	国	国語	その他	面接	下記 注意 事項 参照	共通 テスト	200	100	200	100	200						800
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1				個別学 力検査									300		300
	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	その他	小論文 面接	下記 注意 事項 参照	計	200	100	200	100	200							1100
	理 外 英	物、化、生、(物基、化基、生基から2) から1 (Ⅱ/Ⅲを含む)				(5教科6科目・5教科7科目)	共通 テスト	200	100	200	100	200						
後期 5人	国	国語	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	その他	面接	下記 注意 事項 参照	個別学 力検査					100		200			300	
計	200	100	200	100	200	100	200	100	200	100							1100	

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（医学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」と及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 看護学科において、理科を2科目（理科の基礎を付した科目を選択する場合は3科目）受験しているときは、次のとおり成績を採用します

受験科目数		得点の採用方法
理科①	理科②	
2	1	「理科①の2科目」、「理科②の1科目」のうち高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目

※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目

- 4) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。
- 5) 大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和6年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
 - ③生物基礎・生物は全範囲から出題します。
- 3) 医学部医学科において、第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、原則として前期は募集人員の約6倍までを、後期は募集人員の約14倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

※面接は、合否判定の重要な資料とします。面接の評価が合格に達していない者は不合格とします。

③ 工学部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	総合 問題	面接	主体性 評価	配点 合計
工 学 科	前期 240人	国 国語	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 地歴 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から1 公民 数 I・数Aと(数II・数B、簿、情報から1)の2 理 物、化、生から2 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数	数I・数II・数III・数A・数B	共 通 テ ス ト	200	100	200	200	200					900
				理 外	物基・物、化基・化から1 コ英I・コ英II・英表I (3教科3科目)	個 別 学 力 検 査			250	250	100				10	610
					計	200	100	450	450	300				10	1510	
	後期 90人	国 国語	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 地歴 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から1 公民 数 I・数Aと数II・数Bの2 理 物、化、生から2 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	理	物基・物、化基・化から1 (1教科1科目)	共 通 テ ス ト	200	100	200	200	200				900	
						個 別 学 力 検 査				300					5	305
					計	200	100	200	500	200				5	1205	

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（工学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」と及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 前期日程の数学において、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限り利用します。
- 4) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。
- 5) 大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学I、数学II、数学III、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
- 3) 前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、個別学力検査における英語の試験を免除し、英語を満点とします。
詳細については31ページを参照してください。

※出願について

出願時に全6プログラム（応用物質化学・土木環境工学・応用物理学・電気電子工学・機械機能工学・情報通信工学）に対して、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。詳細については18ページを参照してください。

④ 農学部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	総合 問題	面接	主体性 評価	配点 合計
植物生産環境科学科	前期 27人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通 テスト	200	100	200	200	200					900
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	個別学 力検査			200 *	200 *			
	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	計													
	後期 13人	理		物化生、地学(物基、化基、生基、地基から2)から2(注★)	理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	共通 テスト	200	100	200	200	200				
外	英(ⅠⅡⅢを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目)	個別学 力検査						300							10	310
計							200	100	200	500	200			10	1210	
森林緑地環境科学科	前期 27人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通 テスト	200	100	200	200	200					900
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	個別学 力検査			300 *	300 *			
	数	(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	計													
	後期 13人	理		物化生、地学(物基、化基、生基、地基から2)から2(注★)	理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	共通 テスト	100	100	300	300	200				1000
外	英(ⅠⅡⅢを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目)	個別学 力検査						400						10	410	
計							100	100	300	700	200			10	1410	
応用生物科学科	前期 31人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通 テスト	50		150	150	150					500
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1)の2				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	個別学 力検査			300 *	300 *			
	理	物化生(物基、化基、生基から2)から2(注☆)	計													810
	後期 11人	数		数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1)の2	理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	共通 テスト			200	200	200				600
理	物化生(物基、化基、生基から2)から2(注☆)	個別学 力検査						300					10	310		
外	英(ⅠⅡⅢを含む) (3教科5科目・3教科6科目)		計			200	500	200				10	910			
計																
海洋生物環境科学科	前期 16人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通 テスト	100	50	200	200	100					650
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	個別学 力検査	150 *		150 *	150 *	150 *		
	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1)の2	外	二英Ⅰ・二英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ	計											
	理	物化生、地学(物基、化基、生基、地基から2)から2(注★)				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	共通 テスト	200	50	200	300	200			
後期 10人	外	英(ⅠⅡⅢを含む) (5教科7科目・5教科8科目)	個別学 力検査						300					10	310	
計							200	50	200	600	200			10	1260	
畜産草地科学科	前期 28人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通 テスト	100		200	200	200					700
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	個別学 力検査			300 *	300 *	300 *		
	数	(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	外	二英Ⅰ・二英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ	計											
	理	物化生、地学(物基、化基、生基、地基から2)から2(注★)				理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1	共通 テスト	100		200	200	200			
後期 12人	外	英(ⅠⅡⅢを含む) (5教科7科目・5教科8科目)	個別学 力検査						300					10	310	
計							100		200	500	200			10	1010	

(注★) 次の①②よりいずれかを選択。①理科の基礎を付した科目2科目と理科の基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の選択は不可)、②理科の基礎を付していない科目2科目

(注☆) 次の①②よりいずれかを選択。①理科の基礎を付した科目2科目と理科の基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生)の選択は不可)、②理科の基礎を付していない科目2科目

【注】28ページの注意事項を必ずお読みください。

学科	日程及び募集人員	教科	大学入学共通テストの利用教科・科目名	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
			科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	面接	主体性評価	配点合計	
獣医学科	前期 20人	国 国語 地歴公民 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」 数 (数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2 理 物、化、生から2 外 英(リスニングを含む)	〔5教科7科目〕	数 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から2 理 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 外 二英Ⅰ・二英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ	〔2教科2科目〕	共通テスト	200	100	200	200	200						900
						個別学力検査			200*	200*	200*						5
						計											1305
獣医学科	後期 10人	国 国語 地歴公民 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」 数 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bから1 理 物、化、生から1 外 英(リスニングを含む)	〔5教科5科目〕	理 物基・物 化基・化 生基・生 } から1	〔1教科1科目〕	共通テスト	200	100	200	200	300						1000
						個別学力検査				200						5	205
						計	200	100	200	400	300					5	1205

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（農学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 獣医学科後期日程において、数学を2科目受験しているときは、高得点の科目の成績を採用します。
- 4) 獣医学科後期日程において、理科を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 5) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。また、リーディング、リスニングの配点は次のとおりとします。

学 科	前期日程		後期日程	
	リーディング	リスニング	リーディング	リスニング
植物生産環境科学科	160	40	160	40
森林緑地環境科学科	160	40	160	40
応用生物科学科	75	75	100	100
海洋生物環境学科	75	25	150	50
畜産草地科学科	160	40	160	40
獣医学科	140	60	200	100

なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を各学科の配点に換算します。

- 6) 大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和6年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ① 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ② 数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ① 物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ② 化学基礎・化学は全範囲から出題します。
 - ③ 生物基礎・生物は全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を示します。

※第2志望について

農学部前期日程で獣医学科を第1志望とする場合は、畜産草地科学科を第2志望とすることができます。

⑤ 地域資源創成学部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	総合 問題	面接	主体性 評価	配点 合計
地域 資源 創成 学科	前期 55人	国 数	国語 (数I、数II・数Aから1)と (数II、数II・数B、簿・情報から1)の2	その他	総合問題	共通 テスト	200	200 100	200	100 200	200					900
						個別学 力検査						270		30	300	
	計	200	200 100	200	100 200	200		270		30	1200					
	後期 15人	外 英 (TOEFLを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目)	その他	面接 小論文	共通 テスト	200	200 100	200	100 200	200					900	
				個別学 力検査						100		200		300		
				計	200	200 100	200	100 200	200	100		200		1200		

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、
- ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の選択は不可)、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項(地域資源創成学部)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民、理科の受験科目において、指定科目数を超えて受験しているときは、次のとおり成績を採用します。

受験科目数			得点の採用方法
地歴 公民	理科		
	理科①	理科②	
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科①の2科目」、「理科②の1科目」のうち高得点の2つの成績』 ※ただし、理科①及び理科②において同一名称を含む出題科目を同時に採用することはできない。
	-	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科②の第2解答科目」のうち高得点の1科目』

※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目

- 3) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングを免除された者を除く)。リーディングのみ受験した者(免除者を除く)及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ100点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。
- 4) 大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。

3. 個別学力検査（主体性評価）について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の3要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び個別学力検査の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

また、本学様式は11月中旬公表（予定）の学生募集要項に掲載します。

①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

②農学部

農学部では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「1. 求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、各学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述（※注1）から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに5点（獣医学科）あるいは10点（獣医学科を除く5学科）を加点します。

※注1：調査書の「6.特別活動の記録」及び「7.指導上参考となる諸事項」の2つの項目に重きを置いて、学校内あるいは学校外で取り組んできた活動等について評価します。本学部では、それぞれの項目から（ ）内に記載した素養や経験を読み取れると考えています。

6. 特別活動の記録（主として協働性）

＜各活動に従事した期間を必ず記入してください。＞

7. 指導上参考となる諸事項

(1) 学習における特徴等（主体性・学問への関心）

(2) 行動の特徴、特技等（主体性・協働性）

(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等（主体性・協働性）

＜部活動やボランティア活動の具体的な取組内容および活動期間、その活動における特徴や役割等を記載してください。＞

(4) 取得資格、検定等（主体性・学問への関心）

＜民間や専門高校の校長会等が実施する資格・検定の内容、取得スコア、取得年次、取得時期等を記載してください。＞

(5) 表彰・顕彰等の記録（主として主体性）

(6) その他

なお、「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」及び「8. 備考」の記述については、主体性等の素養や経験とみなせるものを加点対象とすることがあります。

また、文章の量は評価に関係ありません。

※調査書を提出できない者は、活動歴報告書（本学様式）を提出してください。

③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び自己申告書（本学様式）を30点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、長期に渡る臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限されたことにより入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。

4. 個別学力検査（英語）の免除について（工学部）

工学部の個別学力検査（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の試験を免除し、英語を満点とします。

申請方法については、11月中旬公表（予定）の学生募集要項をご確認ください。

TOEIC® Listening&Reading Test	TOEFL		GTEC（4技能） ※オフィシャルスコアに限る	実用英語技能検 定 （英検）
	Junior®	iBT®		
500	730	38	970	2級

5. 一般選抜（前・後期日程）の入学試験問題について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません（使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります）。

また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験者に分かるような形で公表します。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、下記のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

IV. 学校推薦型選抜

1. 各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等

区 分	共通テストを課す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 25人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 卒業後は、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者</p> <p>4. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <hr/> <p>○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国語） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1）と（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1）の2 ・外（英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1） <p style="text-align: center;">[3教科4科目]</p> <hr/> <p>※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。</p> <p>※大学入学共通テストについては、24ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。</p> <p>※大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。</p>
出 願 期 間	令和5年12月18日（月） ～ 12月20日（水）
選 抜 期 日	<p>令和6年1月18日（木）・19日（金）</p> <p>※ いずれか1日、又は2日間の受験となります。</p> <p>※ 受験者数によっては、長時間にわたることもあります。</p>
合 格 発 表 日	令和6年2月9日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から5人以内とします。

区 分	共通テストを課す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	7人 ※選択できる教科は国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 出願時に選択した教科の教育に対する熱意を有する者</p> <p>4. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <hr/> <p>○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国語） ・外（英(リソグ)を含む)、独、仏、中、韓から1) ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報） ・地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、「倫・政経」 ・理（物、化、生、地学、（物基、化基、生基、地基から2）） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: center;">[3教科3科目又は3教科4科目]</p> <hr/> <p>※数学、地歴・公民及び理科において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。</p> <p>※地歴・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。</p> <p>※理科において、理科の基礎を付した科目2科目と基礎を付していない科目1科目を受験しているときは、高得点の成績を採用します。</p> <p>※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。</p> <p>※大学入学共通テストについては、24ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。</p> <p>※大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。</p>
出 願 期 間	令和5年12月18日（月） ～ 12月20日（水）
選 抜 期 日	令和6年1月18日（木） 又は 19日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和6年2月9日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 教職実践基礎コース
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 7人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 卒業後は、本学大学院教育学研究科に進学することを志望し、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者</p> <p>4. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月22日（水） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 小学校教育及び幼稚園教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <hr/> <p>○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国（国語） ・ 数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1）と（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1）の2 ・ 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫・政経」）から1又は2 ・ 理（物、化、生、地学（物基、化基、生基、地基から2））から1又は2 ・ 外（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） <p style="text-align: right;">} から3（注☆）</p> <p style="text-align: center;">[5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目]</p> <hr/> <p>（注☆）次の①②③④よりいずれか選択</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、 ②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、 ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した科目2科目と基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、 ④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目 <p>※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。</p> <p>※大学入学共通テストについては、24ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。</p> <p>※大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。</p>
出 願 期 間	令和5年12月18日（月） ～ 12月20日（水）
選 抜 期 日	令和6年1月19日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和6年2月9日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 特別支援学校教員になることに対する熱意を有し、特別支援学校教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（推薦書及び調査書）の結果を総合して選抜します。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	<p>令和5年11月22日（木）</p> <p>※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。</p>
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す		
実施学部・学科等名	医 学 部		
	医 学 科		
募 集 人 員	地 域 枠 A	地 域 枠 B	地 域 枠 C
	10人	15人	15人
出 願 要 件	<p>1. 【地域枠A】宮崎県内の高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者 【地域枠B】宮崎県内の高等学校を令和4年3月以降に卒業の者又は令和6年3月に卒業見込みの者 【地域枠C】宮崎県を含めた全国の高等学校を令和4年3月以降に卒業の者又は令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、医師として活躍し得る能力・適性を有する者（Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと標示してください。）で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. キャリア形成卒前支援プラン（入学時から卒業時まで）及びキャリア形成プログラム（卒業後）の適用を受けること。また、卒業後は、宮崎大学医学部附属病院又は県内の基幹型臨床研修病院において臨床研修プログラムに参加し、臨床研修修了後も引き続き宮崎の医療に従事するとともに、宮崎県が指定する県内の医療機関に一定期間勤務し、「キャリア形成プログラム」に参加することを約束できる者（出願時に「確約書」を提出すること。）</p> <p>4. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>5. 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受ける者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>		
選 抜 方 法 等	<p>（第1次選考） 高等学校長の推薦書・調査書及び自己推薦書による書類審査、集団討論を総合して合格者（宮崎県の推薦者）を決定します。</p> <p>（第2次選考） 第1次選考合格者（宮崎県の推薦者）を対象者とし、面接を行い、第1次選考結果及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。なお、面接に際しては、筆記による面接資料の作成を課すことがあります。</p>		
	<p>○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国（国語） ・ 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫・政経」）から1 ・ 数（数Ⅰ・数A）と（数Ⅱ・数B、簿、情報から1）の2 ・ 理（物、化、生）から2 ・ 外（英（リスニングを含む）） <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> <hr/> <p>※地歴・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。</p> <p>※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。</p> <p>※大学入学共通テストについては、25ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。</p> <p>※大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。</p>		

出 願 期 間	(第1次選考) 令和5年11月 1日(水) ~ 11月6日(月) (第2次選考) 令和5年12月 1日(金) ~ 12月5日(火)
選 抜 期 日	(第1次選考) 令和5年11月14日(火) (第2次選考) 令和5年12月20日(水)
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和5年11月29日(水) (第2次選考) 令和6年 2月 9日(金)
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	医 学 部
	看 護 学 科
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、看護師・保健師として活躍し得る能力・適性を有する者（Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと標示してください。）で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長の推薦書・調査書及び志望理由書による書類審査、小論文、面接、大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。</p>
	<p>○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国（国語） ・ 数（数Ⅰ・数A）と（数Ⅱ・数B、簿、情報から1）の2 ・ 外（英(リニョグを含む)） <p style="text-align: right;">[3教科4科目]</p> <p>-----</p> <p>※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。</p> <p>※大学入学共通テストについては、25ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。</p> <p>※大学入学共通テストの成績は、令和6年度のものに限り利用します。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月28日（火）
合 格 発 表 日	令和6年 2月 9日（金）
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	農 学 部
	植 物 生 産 環 境 科 学 科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績概評がA段階に属する人のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <p>なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月21日（火） 又は 11月22日（水） ※いずれか1日の受験となります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	<p>1. 推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、農学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話（0985）58-3834</p>

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	農 学 部
	森 林 緑 地 環 境 科 学 科
募 集 人 員	7人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校の普通科、総合学科、農林業及び工業（情報系、土木系）に関連のある学科を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績概評がA段階に属する人のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <p>なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。</p>
出 願 期 間	令和5年11月 1日（水） ～ 11月 6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月21日（火）又は 11月22日（水） ※いずれか1日の受験となります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	<p>1. 推薦人員は、各高等学校の対象となる学科から2人以内とします。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で農学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話（0985）58-3834</p>

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	農 学 部
	応 用 生 物 科 学 科
募 集 人 員	13人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校の普通科、総合学科、農林水産業（食品関係も含む）及び工業（生物工学系）に関連のある学科を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績概評がA段階で、化学と生物に強い興味を持ち、かつ、人物・能力・素質・適性等について出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <p>なお、面接を行う前に試問内容を提示し、面接でそれに関する口頭試問を行います。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月21日（火） 又は 11月22日（水） ※いずれか1日の受験となります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	<p>1. 推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で農学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話（0985）58-3834</p>

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	農 学 部
	海 洋 生 物 環 境 学 科
募 集 人 員	2人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校の水産系、海洋系、総合系あるいはこれらに準ずる学科で水産・海洋系の科目を25単位以上履修し（見込みを含む）、令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績概評がA段階で、海洋生物に強い興味を持ち、かつ、人物・資質・適性に優れ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <p>なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月21日（火） 又は 11月22日（水） ※いずれか1日の受験となります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	<p>1. 推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、農学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話（0985）58-3834</p>

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	農 学 部
	畜産草地科学科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績概評がA段階に属する人のうち生物学と化学に強い興味を持ち、かつ、人物・能力・素質・適性等について出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p> <p>なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。</p>
出 願 期 間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選 抜 期 日	令和5年11月21日（火） 又は 11月22日（水） ※いずれか1日の受験となります。
合 格 発 表 日	令和5年12月8日（金）
そ の 他	<p>1. 推薦人員は、下記のとおりとします。</p> <p>（1）「農業に関連のある学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修する総合学科を含む）」は、各学科から2人以内とします。</p> <p>（2）「農業に関連のない学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修しない総合学科を含む）」は、これらの学科全体の中から1人とします。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で農学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話（0985）58-3834</p>

区 分	共通テストを課さない
実施学部・学科等名	地域資源創成学部
	地域資源創成学科
募集人員	20名
出願要件	<p>1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 学習成績全体の評定平均値が4.0以上に属する者のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。</p>
出願期間	令和5年11月1日（水）～ 11月6日（月）
選抜期日	令和5年11月25日（土）
合格発表日	令和5年12月8日（金）
その他	<p>1. 推薦人員は、各高等学校等から5人以内とします。</p> <p>2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で地域資源創成学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可）</p> <p>照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係 電話（0985）58-7847</p>

2. 各学部・学科課程（コース・専攻）の配点

学部・学科等名		大学入学共通テスト						小論文	面接	書類 審査	合計
		課す・ 課さない	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 ※1				
教育学部・ 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻	課す	200	—	200	—	200	200	400		1200
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻	課す	200	200 ※2			200	200	300		1100
	教職実践基礎コース	課さない	—	—	—	—	—	80	120		200
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	課す	200	200 100	200	100 200	200	—	400		1300
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	課さない	—	—	—	—	—	60	140		200
医学部	医学科	課す	200	100	200	200	200	—	※3		900
	看護学科	課す	200	—	200	—	200	100	100	※3	800
農学部	植物生産環境科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100	400
	森林緑地環境科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100	400
	応用生物科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	200	100	300
	海洋生物環境学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100	400
	畜産草地科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	200	100	300
創地 成域 学資 源部	地域資源創成学科	課さない	—	—	—	—	—	150	150	※4	300

※1 大学入学共通テストの外国語において、英語を選択した場合、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。

※2 地歴・公民、数学及び理科において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。詳細は33ページを参照してください。

※3 合否判定の重要な資料とします。

※4 面接において利用します。

V. 総合型選抜

1. 教育学部

(1) 募集人員・出願要件・選抜方法等

実施学部・学科等名	教 育 学 部	
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻	
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 5人	
出 願 要 件	<p>次の各号に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有する者 3. 卒業後は、宮崎県の小学校教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在学教育施設の当該課程を含みます。</p>	
選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考)</p> <p>書類審査(出願書類:調査書、自己推薦書、志望理由書、課題探究型学習に関する調査及びプレゼンテーション資料)により選抜します。</p> <p>(第2次選考)</p> <p>小論文(英文読解を含む場合があり、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします)、面接、課題探究型学習に関する口頭試問(プレゼンテーションを含む)及び第1次選考の結果を総合して選抜します。</p>	
出 願 期 間	令和5年9月25日(月) ~ 9月27日(水)	
選 抜 期 日	(第2次選考) 令和5年11月25日(土)・26日(日) ※志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。	
合 格 発 表 日	<p>(第1次選考) 令和5年11月1日(水)</p> <p>(最 終) 令和5年12月8日(金)</p>	

(2) 配点

	書類審査	面接	課題探究型学習に関する口頭試問		小論文	合 計
第1次選考	300					300
第2次選考		300	プレゼンテーション	質疑応答	200	900
			100	300		
計						1200

実施学部・学科等名	教 育 学 部 学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	8人 ※選択できる教科：音楽・美術・保健体育 ※募集人員は選択できる3教科全体で8人ですが、原則として「音楽」2人、「美術」2人、「保健体育」4人とします。
出 願 要 件	<p>1. 次のア.～ウ. のいずれかに該当する者 ア. 高等学校を令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者 イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者 ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有する者 3. 選択した教科の教育に対する熱意を有する者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考) 面接・書類審査（出願書類：自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書）、各教科の定める個別審査（49ページ参照）により選抜します。なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。</p> <p>(第2次選考) 面接（プレゼンテーション・実技等を含む場合があります）、小論文（英文読解を含む場合があります、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします）及び第1次選考の結果を総合して選抜します。 ※第1次選考時に課した課題は、面接の基礎資料とします。</p>
出 願 期 間	令和5年9月25日（月） ～ 9月27日（水）
選 抜 期 日	<p>(第1次選考) 令和5年10月21日（土）・22日（日）※ (第2次選考) 令和5年11月25日（土）・26日（日）※ ※いずれの選考も志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。</p>
合 格 発 表 日	<p>(第1次選考) 令和5年11月1日（水） (最 終) 令和5年12月8日（金）</p>

(2) 各教科の定める個別審査等の内容

教科名	個別審査の内容
音楽	実技（ピアノ、声楽又は管弦打楽器から選択）
美術	実技（鉛筆デッサン、紙工作を含む）
保健体育	実技（陸上競技、器械運動、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、柔道の中から当日こちらが指定するもの）

(3) 配点

	書類審査	面接①	面接②	各教科の定める 個別審査	小論文	合 計
第1次選考	200			400		600
第2次選考			200		400	600
計						1200

2. 工学部

(1) 募集人員・出願要件・選抜方法等

実施学部・プログラム等	工学部 工学科																			
	応用物質化学プログラム	土木環境工学プログラム	応用物理工学プログラム	電気電子工学プログラム	機械知能工学プログラム	情報通信工学プログラム														
募集人員	6	7	5	5	8	9														
出願要件	1. 高等学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 志望プログラムに対する熱意を有する者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。																			
選抜方法等	(第1次選考) 自己推薦書、調査書及び活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、各プログラムとも募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">プログラム</th> <th style="width: 50%;">検査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用物質化学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、小論文、個人面接(口頭試問を含む)</td> </tr> <tr> <td>土木環境工学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、個人面接</td> </tr> <tr> <td>応用物理工学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、個人面接</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、小論文、個人面接</td> </tr> <tr> <td>機械知能工学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、個人面接(口頭試問を含む)</td> </tr> <tr> <td>情報通信工学プログラム</td> <td>筆記試験(数学)、個人面接</td> </tr> </tbody> </table> と第1次選考結果を総合して選抜します。						プログラム	検査項目	応用物質化学プログラム	筆記試験(数学)、小論文、個人面接(口頭試問を含む)	土木環境工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接	応用物理工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接	電気電子工学プログラム	筆記試験(数学)、小論文、個人面接	機械知能工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接(口頭試問を含む)	情報通信工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接
プログラム	検査項目																			
応用物質化学プログラム	筆記試験(数学)、小論文、個人面接(口頭試問を含む)																			
土木環境工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接																			
応用物理工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接																			
電気電子工学プログラム	筆記試験(数学)、小論文、個人面接																			
機械知能工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接(口頭試問を含む)																			
情報通信工学プログラム	筆記試験(数学)、個人面接																			
出願期間	令和5年9月1日(金)～9月5日(火)																			
選抜期日	(第2次選考) 令和5年9月26日(火)・27日(水)※ ※志願者数によっては、9月26日(火)の1日で終了する場合があります。																			
合格発表日	(第1次選考) 令和5年9月15日(金) (最終) 令和5年11月1日(水)																			

(2) 配点

	書類審査 (自己推薦書・調査書・活動報告書)	小論文・筆記試験・個人面接	合計
第1次選考	100		100
第2次選考	100	400	500

3. 農学部 森林緑地環境科学科

(1) 募集人員・出願要件・選抜方法等

実施学部・ 学科名等	農 学 部	
	森 林 緑 地 環 境 科 学 科	
募集人員	3人	
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>2. 志望学科の教育研究内容に対する熱意を有する者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>	
選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考)</p> <p>調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。</p> <p>第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。</p> <p>(第2次選考)</p> <p>第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。</p> <p>上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。</p>	
出 願 期 間	令和5年9月1日(金)～9月5日(火)	
選 抜 期 日	(第2次選考) 令和5年10月9日(月)・10日(火)	
合 格 発 表 日	<p>(第1次選考) 令和5年9月15日(金)</p> <p>(最 終) 令和5年11月1日(水)</p>	

(2) 配点

	書類審査			模擬講義等の受講 及びレポート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

4. 農学部 海洋生物環境学科

(1) 募集人員・出願要件・選抜方法等

実施学部・ 学科名等	農 学 部
	海 洋 生 物 環 境 学 科
募 集 人 員	2人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校の普通科（あるいはこれに準ずる学科）を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 志望学科の教育研究内容に対する熱意を有する者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。</p> <p>(第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。</p>
出 願 期 間	令和5年9月1日（金）～9月5日（火）
選 抜 期 日	(第2次選考) 令和5年10月9日（月）・10日（火）
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和5年9月15日（金） (最 終) 令和5年11月1日（水）

(2) 配点

	書類審査			模擬講義等の受講 及びレポート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

VI. その他の選抜

1. グローバル人材育成入試

グローバル人材育成入試（Global Human Resources Development Program）は、農学部において、日本の国籍を有しないものを対象とした、グローバルな人材を育成するための、新たな学部教育プログラム（名称：グローバル人材育成学部教育プログラム）を受講する学生を選抜するための入試です。本プログラムは、宮崎大学及び本学が指定した海外大学において、英語による講義を履修することによって学位取得を可能にするものです。専門教育では、「生物資源（Bioresources）」と「バイオテクノロジー（Biotechnology）」を必須コア科目群とし、これらに加えて、他の専門分野を選択科目として設定しています。

具体的には令和6年度（2024年度）の入学生は、同年4月に宮崎大学へ入学し、基礎教育科目及び専門基礎科目を受講した後に、カセサート大学へ移動して、令和6年（2024年）8月から令和7年（2025年）12月まで引き続き基礎教育科目及び専門基礎科目を受講します。その後、学力確認審査に合格した学生は宮崎大学へ戻り、生物資源とバイオテクノロジーを主体とする専門科目（卒業論文を含む）を受講して、令和10年（2028年）3月に卒業します。プログラムの受講に伴う大学間の移動等に掛かる経費は、受講者の自己負担となります。

実施学部・学科等名	<p style="text-align: center;">農 学 部</p> <p style="text-align: center;">植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境学科 畜産草地科学科</p>
募 集 人 員	<p style="text-align: center;">10人</p> <p>※ただし、上記の募集人員10名は、農学部一般選抜（獣医学科を除く）の募集人員188名の中に含まれます。</p>
出 願 要 件	<p>次の1から3まですべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本以外の国籍を有する者 2. 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和6年（2024年）3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 2) 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを有する者で令和6年（2024年）3月31日までに18歳に達する者 3. 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者 <p>※日本の高等学校又は中等教育学校の3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和6年（2024年）3月卒業見込みの者を含む。）については、一般選抜によることとし、グローバル人材育成入試には出願できません。</p>

選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考) 出願書類(入学志願書、成績証明書、推薦書、言語能力証明書など)の書類選考により選抜を行います。</p> <p>(第2次選考) 第1次選考の合格者のみに対し、複数の教員で英語による個人面接(20分程度で口頭試問を含む)を行い、本プログラムの受講に関わる基礎能力及び適性等にもとづく選抜を行います。</p>
出 願 期 間	令和5年(2023年)9月4日(月) ~ 10月3日(火)
選 抜 期 日	<p>(第1次選考) 書類選考</p> <p>(第2次選考) 令和5年(2023年)11月16日(木)</p> <p>※試験場は宮崎大学バンコク・オフィス(タイ)になります。</p>
合 格 発 表 日	<p>(第1次選考) 令和5年(2023年)10月24日(火)</p> <p>(最終) 令和5年(2023年)12月8日(金)</p>
そ の 他	<p>・詳細については、9月公表(予定)の学生募集要項を参照してください。 学生募集要項については、農学部ホームページにて公表します。 【URL】 https://www.miyazaki-u.ac.jp/global/information.html</p> <p>問い合わせ先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部教務・学生支援係 電話(0985)58-3834</p>

2. 帰国生徒選抜

<p>実施学部・ 学科等名</p>	<p>教育学部 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻</p>	<p>農学部 植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境学科 畜産草地科学科</p>
<p>募集人員</p>	<p>若干人</p>	
<p>出願要件</p>	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>1. 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を外国又は日本において、令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 <small>注）外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。</small></p> <p>2. 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを令和4年又は令和5年に授与された者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者</p>	
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査は免除し、面接、小論文及び出願書類の結果を総合して選抜します。</p>	
<p>出願期間</p>	<p>令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）</p>	
<p>選抜期日</p>	<p>教育学部：令和5年11月20日（月） 農学部：令和5年11月22日（水）</p>	
<p>合格発表日</p>	<p>令和5年12月8日（金）</p>	
<p>その他</p>	<p>詳細については、9月中旬公表（予定）の学生募集要項を参照してください。</p>	

3. 社会人選抜

実施学部・ 学科等名	農学部
	植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境学科 畜産草地科学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>令和6年4月1日現在で、次の1から3のいずれかに該当する者のうち、社会人経験を5年以上【注を参照】有する年齢23歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. その他、学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <p>※ 上記3に該当する者のうち、本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、宮崎大学学び・学生支援機構入試課にお問い合わせください。</p> <p>なお、詳細は本学ホームページにも掲載してありますので、ご参照ください。 【URL】 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html</p> <p>【注】（1）就業しながら、定時制又は通信制の高等学校（大学の夜間部を含む）に在学した期間は、社会人の経験に含めます。 （2）家事・家業・パート等の従事期間も社会人経験に含めます。</p>
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査は免除し、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。</p>
出願期間	令和5年11月1日（水） ～ 11月6日（月）
選抜期日	令和5年11月22日（水）
合格発表日	令和5年12月8日（金）
その他	<p>詳細については、9月中旬公表(予定)の学生募集要項を参照してください。</p>

4. 私費外国人留学生入試

(1) 出願資格

独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験において、下記「(2)選抜方法等」に示す各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者で、次の①から④まですべてに該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者、かつ日本国の永住許可を得ていない者
 - ② 次のいずれかに該当する者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和6年（2024年）3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ 国際バカロレア資格、アピトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを有する者で令和6年（2024年）3月31日までに18歳に達する者
 - ③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
 - ④ 農学部（応用生物科学科を除く）については、出願以前2年以内にTOEFLを受験している者
- 【注意】日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校又は中等教育学校の3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和6年（2024年）3月卒業見込みの者を含む。）については、一般選抜によることとし、この私費外国人留学生入試には出願できません。

(2) 選抜方法等

入学者の選抜は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績並びに本学が行う学力試験等（日本語による小論文、面接、実技等）の成績、TOEFLの成績（農学部（応用生物科学科を除く）のみ）及び最終出身学校の各成績の結果を総合して選抜します。

- ◎「日本留学試験」出題教科・科目・・・**理系：日本語、理科、数学を受験してください。**
文系：日本語、総合科目、数学を受験してください。

学部	学科・課程等	日本留学試験			学力試験等
		利用「試験日」※1	利用「教科・科目」	出題言語の指定 (日本語以外の科目)	
工学部	工学科 応用物質化学プログラム 土木環境工学プログラム 応用物理工学プログラム 電気電子工学プログラム 機械知能工学プログラム 情報通信工学プログラム	2022年度 第2回	①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学はコース2を受験すること	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接
農学部	植物生産環境科学科 ※2 応用生物科学科 海洋生物環境科学科 ※2	2023年度 第1回 又は	①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定する 「日本語によって出題されたものを受験すること」	小論文(日本語)、面接 〔 応用生物科学科では、面接を行う前に英語、化学及び生物の試問内容を提示し、面接でそれに関する口頭試問を行います。 〕
	森林緑地環境科学科 ※2 畜産草科学科 ※2 獣医科学科 ※2		①理系又は文系のいずれかを受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定しない	
創地成域学資 部源	地域資源創成学科		①理系又は文系のいずれかを受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接

※1 日本留学試験の利用試験日のうち、いずれか1回の成績を志願者の申告により利用します。

※2 出願資格として、TOEFLを受験している者。

(3) 出願期間 … 令和5年(2023年)11月1日(水) ～ 11月6日(月)

(4) 選抜期日 … 工学部・地域資源創成学部 : 令和5年(2023年)11月20日(月)
農学部 : 令和5年(2023年)11月22日(水)

(5) 合格発表日 … 令和5年(2023年)12月8日(金)

(6) 選抜方法等の詳細な内容は、9月中旬公表(予定)の学生募集要項を参照してください。

5. 畜産別科入試

本学畜産別科は、高等学校卒業又はこれと同等以上の学力のある人に対し、1年の修学期間で肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農及び草地生産に関する技能教育と、本学教員による教科教育を両立させることにより、実務に有能な人材を養成することを目的としています。

アドミッション・ポリシー	<p>畜産別科は、畜産関係機関の技術者として、また地域農業の担い手として活躍できる人材の育成を目指して、より実践的な教育を行っています。したがって、別科では次のような人を求めています。</p> <p>(1) 修学に必要な基礎学力を有する人 (2) 家畜（動物）が好きな人 (3) 実際の生産現場に関心を持っている人 (4) 畜産を通して地域農業の発展に貢献したい人</p>
募 集 人 員	4人
出 願 要 件	<p>1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p>
選 抜 方 法	筆記試験（一般常識として「国語」「数学」）、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和5年11月14日（火）～11月16日（木）
選 抜 期 日	令和5年11月27日（月）
合 格 発 表 日	令和5年12月 8日（金）
そ の 他	修学年限は1年です。

VII. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、各学生募集要項公表後、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

なお、相談の期限は、各入試の出願開始日の1か月前までとします。

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に本学学び・学生支援機構入試課へご連絡ください。

相談期限や相談方法などの詳細は、各学生募集要項をご確認ください。

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

Ⅷ. 大学案内等の請求方法

1. 「テレメール」で請求する場合

(1) 下記 URL もしくはバーコードよりテレメールにアクセスしてください。

<https://telemail.jp>



※バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。

(2) 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金
大学案内	567992	215 円
入学者選抜要項	587992	250 円
大学案内+入学者選抜要項	568002	250 円

(3) ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※発送日からおおむね3～5日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度かかる場合もあります。1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay、PayPay、auPAY）」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

テレメールに関する問い合わせ
カスタマーセンター TEL：050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 宮崎大学へ請求する場合

(1) 入試課窓口での請求

宮崎大学事務局棟1階の入試課窓口で配付します。

(2) 郵送による請求

返信用封筒（※1）を本学入試課宛（※2）に送付してください。また、不明な点があった場合、こちらから連絡する可能性もありますので、連絡のとれる連絡先（氏名・電話番号）及び請求したい下記の資料名を書いたメモ書きも同封してください。

※1 返信用封筒には、「角形2号封筒 240mm×332mm（A4版が入る大きさ）」で、「大学案内請求」と朱書き、送付先の住所、氏名及び郵便番号を明記し、下記の送料分の郵便切手を貼ってください。

資料名	送料
大学案内	250 円
入学者選抜要項	250 円
大学案内+入学者選抜要項	390 円

問い合わせ及び請求先（※2）
〒889-2192
宮崎市学園木花台西1-1
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
TEL：0985-58-7138

Ⅸ. 卒業後の進路・資格等

1. 教育学部

◎ 教育職員免許状等

課程コース等		免許状	小学校教諭 普通免許状	中学校教諭 普通免許状	高等学校教諭 普通免許状	特別支援学校 教諭普通免許状	幼稚園教諭 普通免許状
学校 教育 課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	1種	2種 1種	1種	2種	2種又は1種
		中学校主免専攻	2種 1種	1種	1種	2種	2種
	教職実践基礎コース		1種	2種又は1種		2種	2種又は1種
	発達支援教育コース	子ども理解専攻	1種	2種		2種	1種
		特別支援教育専攻	1種	2種		1種	2種又は1種

(備考)

1. **太字**は卒業時に取得できる免許、**細字**は時間割等の条件が合えば努力次第で、取得できる可能性のある免許の例です。
2. 学校教育課程で取得できる中学校及び高等学校の免許教科は次のとおりです。
 中学校：国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語
 高等学校：国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・工業・家庭・英語
3. 本学で取得できる特別支援学校の免許の領域は、知的障害・肢体不自由・病弱の3領域です。
 聴覚障害・視覚障害の領域については、取得できません。
4. 学芸員の資格：所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
5. 学校図書館司書教諭の資格：司書教諭講習を受講し、必要単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。

◎ 大学院（教育学研究科）

学部における専門教育又は教職経験の基礎の上に、教職大学院制度に基づいて学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備えた各学校種の新入教員・中堅教員（ミドルリーダー）・管理職教員（スクールリーダー）の育成を目的とする教職実践開発専攻（専門職学位課程）が設けられています。

教職実践開発専攻（専門職学位課程）には、教職実践高度化コース、教科領域指導力高度化コース、特別支援教育コースの3コースがあります。修了者には教職修士（専門職）の学位が授与されます。

2. 医学部

◎ 卒業後の資格

1. 医学科（修業年限6年）を卒業し、医師の国家試験に合格した人には、本人の申請により免許証が与えられます。
2. 看護学科の卒業要件を満たし、卒業が見込まれる人は、看護師の国家試験の受験資格が得られます。また、保健師課程を選択し必要な単位を修得した人は、保健師の国家試験の受験資格が得られます。国家試験に合格した人には、本人の申請により免許証が与えられます。

なお、保健師免許取得後、申請により養護教諭二種免許が得られますが、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の単位取得が必要となります。

※保健師課程を選択するには、2年次後学期に行う選考試験に合格する必要があります。

※助産師教育については、看護学研究科（修士課程）において行っています。

◎ 大 学 院

1. 看護学研究科（修士課程）

本研究科は、問題解決能力を有する看護実践者の育成と看護学の教育・研究者の素地育成を目的として、『看護学専攻2コース（研究者育成コース、実践看護者育成コース）7領域（基盤システム看護学、地域・精神看護学、成人・老年療養支援看護学、母子健康看護学、がん看護、実践助産学開発、実践助産学）で構成された看護学研究科』で各種の医療機関、保健・福祉施設、行政、教育・研究機関などにおいて、看護実践・指導・研究・教育ができる人材の育成を使命としています。修了者には、修士（看護学）の学位が授与されます。

2. 医学獣医学総合研究科（修士課程・博士課程）

教育研究の充実と進化を深めるために、医学獣医学総合研究科博士課程医学獣医学専攻には、3コース（①高度臨床医育成コース、②高度獣医師育成コース、③研究者育成コース）があります。本研究科は、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の育成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。

本研究科に原則として4年以上在学し、指導教員の下に、所要の単位を修得するとともに、学位審査及び試験に合格した人には、博士（医学、獣医学のいずれか）の学位が授与されます。

また、医学獣医学総合研究科修士課程医科学獣医科学専攻には、3コース（生命科学研究者育成コース、高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース、生命倫理コーディネーターコース）があります。

本専攻は、医学と獣医学を融合した高度な研究活動を実践している本研究科博士課程への進学を視野に入れた教育研究を行うものであり、また、地域社会の要請に応える人材の輩出を考慮した教育研究を目指すものです。そして、本専攻での修学は、医学・獣医学分野及び医療社会科学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼としており、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。修了者には、修士（医科学、動物医科学のいずれか）の学位が授与されます。

3. 工学部

◎ 卒業後の資格

全プログラムとも、博物館法施行規則に定める科目及び工学部の定める科目の所要単位を修得した人には、学芸員資格取得のための「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

また、以下のプログラムの卒業生は次の資格を取得することができます。

1. 応用物質化学プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭1種（理科）の免許状または高等学校教諭1種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。
- 卒業後2年以上の産業安全の実務を経験し、厚生労働大臣の定める研修を修了すれば、安全管理者になる資格が得られます。
- 甲種危険物取扱者（第1類～第6類すべての種類の危険物の取り扱いと立ち会いが認められる資格）の受験資格が得られます。なお、大学において化学に関する授業科目を15単位以上修得した時点で受験できるので、在学中に資格を取得することも可能です。
- 卒業後、厚生労働省令で定める学校で応用化学に関する学課を修了した人として、毒物劇物を取り扱う製造所、営業所又は店舗毎に専任が必要な「毒物劇物取扱責任者」となる資格を有します。

2. 土木環境工学プログラム

- 測量に係る所定の科目（測量学I、測量学II、測量学実習I、測量学実習II）の単位を修得した人は、卒業後に所管機関に申請することによって「測量士補」の資格が与えられます。

3. 応用物理工学プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭1種（理科）の免許状または高等学校教諭1種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

4. 電気電子工学プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭1種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

5. 機械知能工学プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭1種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

※以上の資格に関する記載内容は、予定であり変更もあり得ます。内容等に変更が生じた場合は、本学ホームページ等で随時お知らせいたします。

◎ 大学院

1. 大学教育の基礎の上に高度の専門的な知識を修得し、工学の発展に寄与できる技術者、研究者及び教育者を養成する工学研究科（修士課程）が設けてあり、修了者には修士（工学）の学位が授与されます。
2. 農学工学総合研究科は、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。修了者には博士（農学、工学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

4. 農学部

◎ 卒業後の資格

関連科目を履修することにより、下記の表に示すような資格や免許、これらの受験資格あるいは受験上の恩恵を得ることができます。

植物生産環境科学科	高等学校教諭一種免許状（農業・理科）、学芸員、食品衛生管理者・食品衛生監視員、普及指導員、自然再生士補、J G A P 指導員
森林緑地環境科学科	高等学校教諭一種免許状（農業・理科）、学芸員、普及指導員、林業普及指導員、樹木医補、測量士補、森林情報士 2 級、自然再生士補
応用生物科学科	高等学校教諭一種免許状（農業・理科）、学芸員、食品衛生管理者・食品衛生監視員、毒物劇物取扱責任者、普及指導員
海洋生物環境学科	高等学校教諭一種免許状（水産・理科）、学芸員、食品衛生管理者・食品衛生監視員、潜水土免許
畜産草地科学科	高等学校教諭一種免許状（農業・理科）、学芸員、普及指導員、食品衛生管理者・食品衛生監視員、家畜人工授精師、実験動物 1 級技術者、飼料製造管理者
獣医学科	獣医師、学芸員、食品衛生管理者・食品衛生監視員
<p>(備考)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校教諭一種免許状（農業・理科・水産）：別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。 2. 学芸員の資格：所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。 3. 食品衛生管理者・食品衛生監視員、飼料製造管理者：卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。 4. 普及指導員、林業普及指導員：資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、資格試験の受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後 4 年以上の実務経験が必要です。 5. 測量士補、森林情報士 2 級、樹木医補、自然再生士補、家畜人工授精師：所定の科目の単位を修得し、その他所定の要件を満たした人は、卒業後に資格を得ることができます。 6. J G A P 指導員：資格取得に関連する授業を受けることができるので、資格取得に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。 7. 毒物劇物取扱責任者：卒業後、勤務先の毒物劇物を取り扱う製造所、営業所又は店舗で必要とされる場合に、この資格をもつことができます（受験等の必要はありません）。 8. 実験動物 1 級技術者：所定の科目の単位を修得すれば、4 年次に受験することができます。学科及び実地の両試験に合格した者は、認定登録申請により実験動物 1 級技術者の資格を得ることができます。 9. 潜水土免許：資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、潜水土免許を取得する際の受験に有利になります。在学中に受験して資格を得ることができます。 10. 獣医師：所定の科目の単位を修得すれば、獣医師国家試験の受験資格を得ることができます。 	

◎ 大 学 院

1. 大学教育の基礎の上に高度の専門的な知識と技能を修めるとともに、農業の近代化に即応する高度な技術者・研究者及び教育者を養成する農学研究科（修士課程）が設けてあり、修了した人には、修士（農学、水産学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

2. 平成19年4月1日から「宮崎大学大学院農学工学総合研究科（博士後期課程）」が新たに設置されました。

農学工学総合研究科は、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。修了者には博士（農学、工学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

3. 獣医学科卒業生については、平成22年4月1日から「宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科（博士課程）」が新たに設置されました。医学獣医学総合研究科は、医学部と獣医学科が連携した大学院で、高度獣医療を実践する臨床獣医師ならびに国際的に活躍できる研究者を目指す高次教育を行います。修了者には、博士（獣医学、医学のいずれか）の学位が授与されます。

また、平成26年4月1日から「宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科（修士課程）」が設置され、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼とし、専門分野に偏らない幅広い基盤的知識の習得、それを基礎とした研究能力を養う教育を行います。修了者には修士（医科学、動物医科学のいずれか）の学位が授与されます。

5. 地域資源創成学部

◎ 卒業後の進路

地方公務員（県庁、市町村役場）、国家公務員、IT業界、放送局、運輸業（航空業界、高速道路等）、電気・ガス・水道業、卸・小売業、製造業（食品・飲料、繊維、化学工業、自動車部品等）、団体職員、生活関連サービス業、大学職員、教育・学習支援業、金融業、不動産業、複合サービス業、専門技術サービス業（士業、コンサルタント業等）、建設業、進学など

◎ 大 学 院

地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値の創出を行い、今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度な専門性を確保した人材養成を目指します。修了者には、修士（地域資源創成学）の学位が授与されます。

令和5年度(2023年度)宮崎大学入学試験実施状況

【総括】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻	55	379	6.9	211	(102)	(199)	63	(39)	(59)	58	(38)	(54)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻	35	101	2.9	90	(36)	(87)	39	(21)	(36)	38	(21)	(36)
	教職実践基礎コース	10	26	2.6	24	(11)	(21)	11	(5)	(10)	11	(5)	(10)
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	10	24	2.4	19	(19)	(19)	11	(11)	(11)	11	(11)	(11)
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	10	33	3.3	30	(20)	(29)	11	(9)	(11)	11	(9)	(11)
	小計	120	563	4.7	374	(188)	(355)	135	(85)	(127)	129	(84)	(122)
医学部	医学科	100	1255	12.6	377	(190)	(166)	104	(53)	(38)	100	(52)	(34)
	看護学科	60	198	3.3	143	(127)	(126)	68	(62)	(58)	60	(54)	(51)
	小計	160	1453	9.1	520	(317)	(292)	172	(115)	(96)	160	(106)	(85)
工学部	工学科	370	1886	5.1	940	(110)	(808)	451	(68)	(390)	372	(54)	(319)
	小計	370	1886	5.1	940	(110)	(808)	451	(68)	(390)	372	(54)	(319)
農学部	植物生産環境科学科	52	234	4.5	122	(51)	(98)	64	(27)	(51)	54	(22)	(41)
	森林緑地環境科学科	52	284	5.5	164	(51)	(139)	59	(24)	(50)	54	(22)	(45)
	応用生物科学科	57	486	8.5	319	(148)	(272)	75	(41)	(59)	59	(34)	(47)
	海洋生物環境学科	33	224	6.8	148	(54)	(125)	39	(15)	(29)	34	(13)	(26)
	畜産草地科学科	61	281	4.6	164	(82)	(130)	70	(44)	(57)	64	(41)	(53)
	獣医学科	30	243	8.1	136	(78)	(70)	37	(22)	(21)	33	(18)	(19)
	小計	285	1752	6.1	1053	(464)	(834)	344	(173)	(267)	298	(150)	(231)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	90	378	4.2	247	(114)	(217)	99	(41)	(89)	96	(40)	(87)
	小計	90	378	4.2	247	(114)	(217)	99	(41)	(89)	96	(40)	(87)
合計		1025	6032	5.9	3134	(1193)	(2506)	1201	(482)	(969)	1055	(434)	(844)

※前期日程、後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜、グローバル人材育成入試、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試の総計。

※志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

【前期日程】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(2/3型)	20	71	3.6	51	(22)	(48)	23	(14)	(21)	22	(14)	(20)
	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(理系型)	10	40	4.0	37	(17)	(35)	12	(6)	(11)	10	(6)	(9)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(2/3型)	10	36	3.6	31	(10)	(29)	12	(5)	(10)	11	(5)	(10)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(理系型)	10	25	2.5	19	(4)	(18)	12	(5)	(11)	12	(5)	(11)
	教職実践基礎コース	5	17	3.4	15	(6)	(12)	6	(2)	(5)	6	(2)	(5)
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	7	16	2.3	11	(11)	(11)	8	(8)	(8)	8	(8)	(8)
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	7	27	3.9	24	(14)	(23)	8	(6)	(8)	8	(6)	(8)
	小計	69	232	3.4	188	(84)	(176)	81	(46)	(74)	77	(46)	(71)
医学部	医学科	45	282	6.3	212	(104)	(82)	47	(21)	(16)	45	(21)	(14)
	看護学科	35	97	2.8	82	(70)	(67)	41	(36)	(33)	35	(30)	(27)
	小計	80	379	4.7	294	(174)	(149)	88	(57)	(49)	80	(51)	(41)
工学部	工学科	240	478	2.0	449	(45)	(381)	268	(31)	(233)	243	(28)	(212)
	小計	240	478	2.0	449	(45)	(381)	268	(31)	(233)	243	(28)	(212)
農学部	植物生産環境科学科	28	62	2.2	58	(24)	(49)	33	(15)	(30)	29	(11)	(26)
	森林緑地環境科学科	28	90	3.2	85	(26)	(73)	31	(12)	(28)	29	(12)	(26)
	応用生物科学科	33	166	5.0	156	(73)	(137)	40	(23)	(34)	33	(21)	(28)
	海洋生物環境学科	18	93	5.2	89	(32)	(75)	19	(6)	(14)	19	(6)	(14)
	畜産草地科学科	34	86	2.5	82	(42)	(68)	38	(24)	(33)	36	(22)	(32)
	獣医学科	20	61	3.1	58	(28)	(27)	23	(11)	(13)	23	(11)	(13)
	小計	161	558	3.5	528	(225)	(429)	184	(91)	(152)	169	(83)	(139)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	55	135	2.5	126	(52)	(109)	60	(22)	(54)	59	(22)	(53)
	小計	55	135	2.5	126	(52)	(109)	60	(22)	(54)	59	(22)	(53)
合計		605	1782	2.9	1585	(580)	(1244)	681	(247)	(562)	628	(230)	(516)

※志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

【後期日程】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主専攻	10	242	24.2	97	(43)	(90)	13	(7)	(12)	11	(6)	(10)
	小計	10	242	24.2	97	(43)	(90)	13	(7)	(12)	11	(6)	(10)
医学部	医学科	15	868	57.9	64	(25)	(33)	17	(9)	(10)	15	(8)	(8)
	看護学科	5	56	11.2	16	(14)	(14)	7	(6)	(5)	5	(4)	(4)
	小計	20	924	46.2	80	(39)	(47)	24	(15)	(15)	20	(12)	(12)
工学部	工学科	90	1296	14.4	385	(50)	(325)	141	(29)	(117)	87	(18)	(67)
	小計	90	1296	14.4	385	(50)	(325)	141	(29)	(117)	87	(18)	(67)
農学部	植物生産環境科学科	14	158	11.3	50	(20)	(37)	20	(7)	(11)	14	(6)	(5)
	森林緑地環境科学科	14	168	12.0	53	(18)	(40)	18	(7)	(12)	15	(5)	(9)
	応用生物科学科	11	283	25.7	126	(53)	(101)	20	(9)	(12)	11	(4)	(6)
	海洋生物環境学科	11	114	10.4	42	(16)	(38)	15	(5)	(12)	11	(4)	(9)
	畜産草地科学科	15	175	11.7	62	(27)	(43)	19	(9)	(12)	15	(8)	(9)
	獣医学科	10	181	18.1	77	(50)	(43)	14	(11)	(8)	10	(7)	(6)
	小計	75	1079	14.4	410	(184)	(302)	106	(48)	(67)	76	(34)	(44)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	15	179	11.9	57	(23)	(46)	18	(5)	(15)	16	(4)	(14)
	小計	15	179	11.9	57	(23)	(46)	18	(5)	(15)	16	(4)	(14)
合計		210	3720	17.7	1029	(339)	(810)	302	(104)	(226)	210	(74)	(147)

※ 志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※ 医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

【学校推薦型選抜】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	22	49	2.2	49	(32)	22	(16)	22	(16)
	小学校主免専攻	15	26	1.7	26	(20)	15	(12)	15	(12)
	中学校主免専攻	7	23	3.3	23	(12)	7	(4)	7	(4)
	教職実践基礎コース	5	9	1.8	9	(5)	5	(3)	5	(3)
	発達支援教育コース	6	14	2.3	14	(14)	6	(6)	6	(6)
	子ども理解専攻	3	8	2.7	8	(8)	3	(3)	3	(3)
	特別支援教育専攻	3	6	2.0	6	(6)	3	(3)	3	(3)
小計	33	72	2.2	72	(51)	33	(25)	33	(25)	
医学部	医学科	40	103	2.6	101	(61)	40	(23)	40	(23)
	地域枠A	10	38	3.8	37	(18)	8	(3)	8	(3)
	地域枠B	15	35	2.3	35	(24)	18	(11)	18	(11)
	地域枠C	15	30	2.0	29	(19)	14	(9)	14	(9)
	看護学科	20	45	2.3	45	(43)	20	(20)	20	(20)
小計	60	148	2.5	146	(104)	60	(43)	60	(43)	
農学部	植物生産環境科学科	10	12	1.2	12	(6)	10	(4)	10	(4)
	森林緑地環境科学科	7	15	2.1	15	(3)	7	(3)	7	(3)
	応用生物科学科	13	34	2.6	34	(22)	13	(9)	13	(9)
	海洋生物環境学科	2	1	0.5	1	(1)	1	(1)	1	(1)
	畜産草地科学科	12	19	1.6	19	(12)	12	(10)	12	(10)
小計	44	81	1.8	81	(44)	43	(27)	43	(27)	
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	20	62	3.1	62	(37)	20	(13)	20	(13)
	小計	20	62	3.1	62	(37)	20	(13)	20	(13)
合計		157	363	2.3	361	(236)	156	(108)	156	(108)

【総合型選抜】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	8	17	2.1	17	(10)	8	(7)	8	(7)
	中学校主免専攻(音楽)	8	2	2.1	2	(2)	2	(2)	2	(2)
	中学校主免専攻(美術)		2		(1)	2	(1)	2	(1)	
	中学校主免専攻(保健体育)		13		(7)	4	(4)	4	(4)	
工学部	工学科	40	102	2.6	102	(14)	40	(8)	40	(8)
	応用物質化学プログラム	6	9	1.5	9	(2)	6	(1)	6	(1)
	土木環境工学プログラム	7	21	3.0	21	(5)	7	(3)	7	(3)
	応用物理工学プログラム	5	6	1.2	6	(2)	5	(2)	5	(2)
	電気電子工学プログラム	5	13	2.6	13	(1)	5	(1)	5	(1)
	機械知能工学プログラム	8	28	3.5	28	(1)	8	(0)	8	(0)
	情報通信工学プログラム	9	25	2.8	25	(3)	9	(1)	9	(1)
農学部	森林緑地環境科学科	3	11	3.7	11	(4)	3	(2)	3	(2)
	海洋生物環境学科	2	11	5.5	11	(2)	2	(2)	2	(2)
合計		53	141	2.7	141	(30)	53	(19)	53	(19)

【グローバル人材育成入試】

学部	学科等	募集人員	志願者数	受験者		合格者		入学者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
農学部	植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境学科 畜産草地科学科	10	5	5	(1)	3	(1)	3	(1)
	小計	10	5	5	(1)	3	(1)	3	(1)
合計		10	5	5	(1)	3	(1)	3	(1)

※ 受験者は、第2次選考を受験した人数。

【帰国生徒選抜】

学部	学科等	募集人員	志願者	受験者		合格者		入学者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小学校主免専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	中学校主免専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	教職実践基礎コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	発達支援教育コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	子ども理解専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	特別支援教育専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
小計	若干名	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
農学部	植物生産環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林緑地環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生物科学科	若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)
	海洋生物環境学科	若干名	1	1	(1)	0	(0)	0	(0)
	畜産草地科学科	若干名	1	1	(1)	1	(1)	1	(1)
	小計	若干名	3	3	(2)	2	(1)	2	(1)
合計		若干名	3	3	(2)	2	(1)	2	(1)

【社会人選抜】

学部	学科等	募集人員	志願者	受験者		合格者		入学者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
農学部	植物生産環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林緑地環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生物科学科	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
	海洋生物環境学科	若干名	1	1	(1)	1	(1)	0	(0)
	畜産草地科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小計	若干名	2	2	(1)	1	(1)	0	(0)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	若干名	2	2	(2)	1	(1)	1	(1)
	小計	若干名	2	2	(2)	1	(1)	1	(1)
合計		若干名	4	4	(3)	2	(2)	1	(1)

【私費外国人留学生入試】

学部	学科等	募集人員	志願者	受験者		合格者		入学者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
医学部	医学科	若干名	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小計	若干名	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)
工学部	工学科								
	応用物質化学プログラム	若干名	4	1	(0)	1	(0)	1	(0)
	土木環境工学プログラム	若干名	1	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用物理工学プログラム	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	電気電子工学プログラム	若干名	2	2	(1)	1	(0)	1	(0)
	機械知能工学プログラム	若干名	1	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	情報通信工学プログラム	若干名	2	1	(0)	0	(0)	0	(0)
小計	若干名	10	4	(1)	2	(0)	2	(0)	
農学部	植物生産環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林緑地環境科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生物科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	海洋生物環境学科	若干名	1	1	(1)	0	(0)	0	(0)
	畜産草地科学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	獣医学科	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
小計	若干名	2	2	(1)	0	(0)	0	(0)	
地域資源創成学部	地域資源創成学科	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小計	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
合計		若干名	14	6	(2)	2	(0)	2	(0)

一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点

学部	学科等	日程	募集人員	合格者数	配点合計	合格者		
						最高点	最低点	平均点
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース小学校主免専攻							
	2/3型+面接入試	前期	20	23	1400	952	833	871
	理系型+面接入試	前期	10	12	1500	885
	小論文+面接入試	後期	10	13	1500	984
	小中一貫教育コース中学校主免専攻							
	2/3型+面接入試	前期	10	12	1400	901
	理系型+面接入試	前期	10	12	1500	899
	教職実践基礎コース							
	教職実践基礎コース	前期	5	6	1400	834
	発達支援教育コース							
子ども理解専攻	前期	7	8	1400	794	
特別支援教育専攻	前期	7	8	1400	721	
医学部	医学科	前期	45	47	1500	1209	1053	1102
		後期	15	17	1050	937	885	900
	看護学科	前期	35	41	1100	865	661	718
		後期	5	7	1100	679
工学部	工学科	前期	240	268	1510	1104	719	842
		後期	90	141	1205	925	688	774
農学部	植物生産環境科学科	前期	28	33	1110	702	596	637
		後期	14	20	1210	861	676	737
	森林緑地環境科学科	前期	28	31	1210	832	696	737
		後期	14	18	1410	1054	806	892
	応用生物科学科	前期	33	40	810	648	528	562
		後期	11	20	910	756	629	660
	海洋生物環境科学科	前期	18	19	810	573	502	523
		後期	11	15	1260	895	766	814
	畜産草地科学科	前期	34	38	1110	816	619	678
		後期	15	19	1210	906	701	771
	獣医学科	前期	20	23	1305	1102	998	1033
		後期	10	14	1205	1034
地域資源創成学部	地域資源創成学科	前期	55	60	1200	874	677	724
		後期	15	18	1200	899	751	800

※ 最低点及び平均点については、追加合格者及び追試験合格者を除いて算出。

※ 合格者数が15名未満の場合、最高点及び最低点是非公開。

※ 教育学部小中一貫教育コース(前期)の最高点、最低点及び平均点には、第2志望合格者の得点を含む。

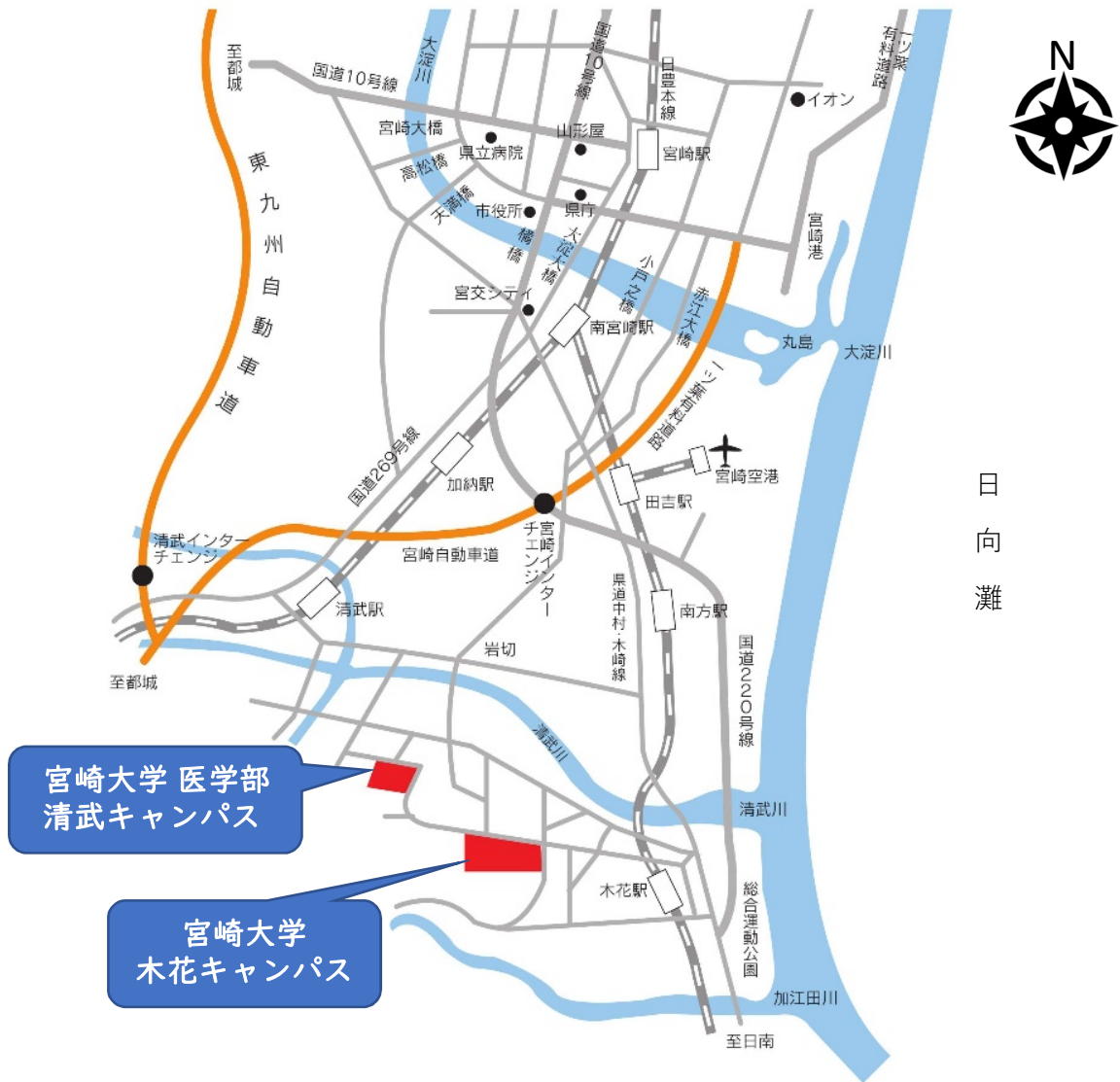
※ 農学部畜産草地科学科(前期)の最高点、最低点及び平均点には、第2志望合格者の得点含まない。

志願者・入学者の出身高校等所在地別調

都 道 府 県	教 育 学 部		医 学 部		工 学 部		農 学 部		地 域 資 源 創 成 学 部		合 計	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
1 北海道	0	0	10	2	2	1	28	3	2	1	42	7
東北地方	0	0	4	0	3	1	12	3	2	0	21	4
2 青森県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
3 岩手県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
4 宮城県	0	0	2	0	1	0	6	2	2	0	11	2
5 秋田県	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0
6 山形県	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	4	1
7 福島県	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1
関東地方	9	2	208	13	26	2	167	23	11	4	421	44
8 茨城県	3	1	13	1	7	0	12	1	3	1	38	4
9 栃木県	0	0	0	0	1	0	7	0	1	0	9	0
10 群馬県	0	0	5	1	2	0	14	4	0	0	21	5
11 埼玉県	1	0	21	3	2	0	29	4	3	1	56	8
12 千葉県	0	0	26	3	3	0	13	0	3	1	45	4
13 東京都	3	0	98	3	7	1	55	7	1	1	164	12
14 神奈川県	2	1	45	2	4	1	37	7	0	0	88	11
中部地方	21	8	87	4	85	12	197	37	12	4	402	65
15 新潟県	0	0	2	0	0	0	3	2	2	2	7	4
16 富山県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
17 石川県	4	1	4	0	2	1	6	0	0	0	16	2
18 福井県	0	0	2	0	4	0	2	0	0	0	8	0
19 山梨県	0	0	2	0	2	0	8	2	0	0	12	2
20 長野県	2	1	8	0	3	0	22	2	2	1	37	4
21 岐阜県	0	0	4	0	8	1	28	7	2	0	42	8
22 静岡県	2	1	11	1	26	2	32	5	0	0	71	9
23 愛知県	13	5	54	3	40	8	95	19	6	1	208	36
近畿地方	12	3	247	18	105	19	233	33	10	3	607	76
24 三重県	1	1	18	1	24	6	24	3	0	0	67	11
25 滋賀県	1	0	6	1	4	1	11	1	1	0	23	3
26 京都府	0	0	20	1	11	3	29	5	0	0	60	9
27 大阪府	4	0	78	4	27	2	87	11	3	1	199	18
28 兵庫県	5	2	69	8	27	6	60	8	5	2	166	26
29 奈良県	0	0	32	3	5	1	13	3	1	0	51	7
30 和歌山県	1	0	24	0	7	0	9	2	0	0	41	2
中国地方	15	6	127	12	86	12	129	23	18	3	375	56
31 鳥取県	0	0	5	0	3	0	8	0	1	1	17	1
32 島根県	1	1	9	2	9	3	13	4	2	0	34	10
33 岡山県	2	0	43	5	21	4	24	3	4	0	94	12
34 広島県	11	5	59	4	24	2	40	6	5	2	139	19
35 山口県	1	0	11	1	29	3	44	10	6	0	91	14
四国地方	8	2	51	1	35	6	50	9	4	0	148	18
36 徳島県	1	0	17	0	6	3	14	3	0	0	38	6
37 香川県	1	0	13	1	9	1	10	1	2	0	35	3
38 愛媛県	6	2	10	0	17	2	23	5	2	0	58	9
39 高知県	0	0	11	0	3	0	3	0	0	0	17	0
九州地方	496	108	710	110	1531	317	921	159	318	81	3976	775
40 福岡県	34	10	133	16	254	53	212	33	21	3	654	115
41 佐賀県	12	1	21	0	74	14	43	4	7	2	157	21
42 長崎県	40	3	54	6	143	26	66	9	8	3	311	47
43 熊本県	67	14	59	8	190	36	78	13	14	3	408	74
44 大分県	24	3	37	2	153	25	101	17	23	5	338	52
45 宮崎県	258	65	327	72	520	122	286	58	216	57	1607	374
46 鹿児島県	60	11	67	4	187	38	108	21	27	7	449	81
47 沖縄県	1	1	12	2	10	3	27	4	2	1	52	11
その他	2	0	9	0	13	2	15	8	1	0	40	10
合計	563	129	1453	160	1886	372	1752	298	378	96	6032	1055

※ その他は、高等学校卒業程度認定試験合格者、外国の学校等を卒業した者。

宮崎大学 位置図



宮崎大学 医学部
清武キャンパス

宮崎大学
木花キャンパス

木花キャンパスへの交通アクセス (教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部)

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【宮崎交通バスを利用する場合】 「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」 → 「橘通り」 → 「宮交シティ」 → 「宮崎大学」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約10分
 ○JR清武駅から：約15分 ○JR南宮崎駅から：約25分

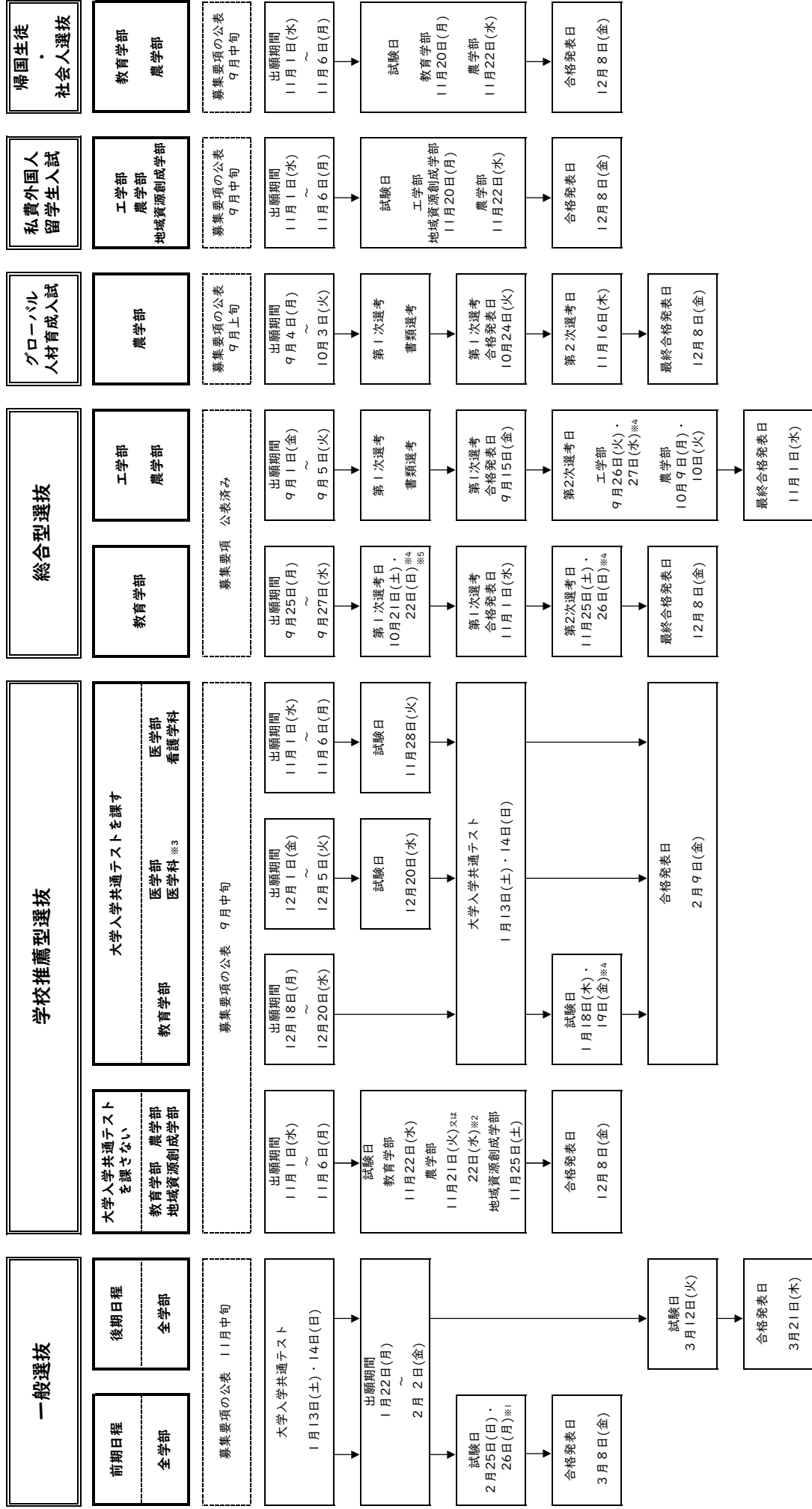
清武キャンパスへの交通アクセス (医学部)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

【宮崎交通バスを利用する場合】 「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」 → 「橘通り」 → 「宮交シティ」 → 「大学病院」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約15分
 ○JR清武駅から：約10分 ○JR南宮崎駅から：約25分

入学者選抜試験日程：令和5年9月～令和6年3月



入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番
 ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
 TEL 0985-58-7138
 E-mail nyushi@of.miyazaki-u.ac.jp

※1 医学部看護学科、工学部、農学部、地域資源創成学部は2月25日の1日のみ実施。
 ※2 いずれか1日の受験となります。
 ※3 医学部医学科地域枠学校推薦型選抜は第2次選考の日程を記載しています。
 ※4 志願者数によっては1日で終了する場合があります。
 ※5 教育学部小学校主免専攻の第1次選考は書類選考を行います。